

松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



広報

まつざき

2015
(平成27年)

6
No.613



石部棚田で「田植え祭」(5/16・17)

2日間でオーナー・トラスト会員約500人が参加し、田植え作業を行いました。親子で参加するグループも多く、石部棚田は稲の成長を通じた家族の交流の場にもなっています。

二十一世紀松崎町三つの実践運動

～大人も子どももみんなできり組む～

明るくあいさつ はっきり返事 ひっきり後しまつ

町では、青少年健全育成活動の一環として、「あいさつ・返事・後しまつ」を合言葉に、「二十一世紀松崎町三つの実践運動」を展開しています。

この運動は、「学校・家庭・地域が連携し、子どもを育てるため、大人から実践すること」、「大人も子どもも互いに関わり合いを深めること」という2つの視点から提案されたものです。

三つの実践運動に関するアンケートでは、小・中学生は「笑顔で自分からあいさつする」、「大きな声ではっきり返事をする」、「使った物は元に戻す」等について意識的に取り組んでいるとの回答が多くありました。

保護者の方や地域住民の方からは、「大人が手本となるよう自ら率先して実践している」、「子どもと一緒に取り組んでいる」との回答を多くいただきました。

特に、あいさつについては、「あいさつをすることで知合いが増えた」、「高校生のあいさつが素晴らしく気持ち良かった」との回答も多く、あいさつをすることで、地域

コミュニティのつながりが確実に広がっていることや、三つの実践運動が各世代に浸透しているとともに、あいさつをはじめ、住民同士が声をかけあうことが、明るいまちづくりの基盤となっていることを改めて実感することができました。

三つの実践運動は、家庭・学校で繰り返し声をかけていくことはもちろんですが、普段から地域ぐるみであいさつや声かけを行うことが大切です。地域の皆様からあいさつや温かい言葉を受けた子どもたちは、安心感を抱き、自尊感情や自己肯定感が高まる等、健全育成への効果も期待されます。

この運動を実践につなげるためには、学校・家庭・地域の連携が不可欠です。特に、地域の皆様におかれましては、登下校中の児童・生徒への声かけをお願いします。

今後も三つの実践運動を推進し、地域ぐるみで「心地よいあいさつが溢れる町」を目指していきましょう。

【問合せ】

教育委員会（42）3971

児童・生徒・保護者・地域の方の意見から

あいさつについて

- ・大きな声ではっきりと言う (小学生)
- ・相手が気持ち良くなるように (小学生)
- ・大きな声で、笑顔で、自分から (小学生)
- ・相手の目を見ている (中学生)
- ・分け隔てなくあいさつする (中学生)
- ・家族全員で意識している (保護者)
- ・誰にでもあいさつするよう伝えている (保護者)
- ・観光客が子どもたちのあいさつに感心していた (50代女性)

返事について

- ・「はい、～です」と言う (小学生)
- ・お腹から声を出す (小学生)
- ・大きな声で返事をする (小学生)
- ・名前を呼ばれたらしっかり返事をする (小学生)
- ・はっきり言うようにしている (中学生)
- ・相手に聞こえるように (中学生)
- ・うなずくだけでなく声に出して返事をさせている (保護者)
- ・返事がないときはそのつど声かけしている (保護者)

後しまつについて

- ・元のところに戻す (小学生)
- ・共用スペースをきれいに (小学生)
- ・自分の決めた場所に戻す (小学生)
- ・片づけが終わってから次の事をするよう伝えている (保護者)
- ・友達と一緒に片づける (小学生)
- ・身の回りにごみが落ちていたら拾う (小学生)
- ・自分のことは自分で責任を持つ (中学生)
- ・片づけられないなら出させない (保護者)

6月は土砂災害防止月間 土砂災害に備えましょう

土砂災害は、大雨や地震等が引き金となって発生します。土砂災害が発生すると、一瞬にして尊い命や財産が奪われ、甚大な被害をもたらします。

土砂災害から身を守るために、日頃から防災知識を高めおきましょう。

○土砂災害の種類と前兆現象
土砂災害には、「土石流」、「がけ崩れ」、「地すべり」の3種類があります。

これらが発生する前には、下記の前兆現象があります。

こうした前兆現象に気付いたら、周囲の人にも知らせ、いち早く安全な場所に避難することが大事です。



■土石流の特徴・前兆現象

土石流は、山や谷（渓流）の土、石、木等が、大雨や長雨による水と一緒に流れて、すごい勢い（およそ時速40〜50km）で流れてくる現象です。

【主な前兆現象】

- ・山鳴りがする。
- ・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める。
- ・降雨が続くのに川の水位が下がる。

■がけ崩れの特徴・前兆現象

がけ崩れは、急傾斜地において、大雨や長雨等により雨水が地面に染み込み、緩んだ「がけ」が突然崩れ落ちる現象です。また、地震が原因で発生することもあります。

【主な前兆現象】

- ・がけにひび割れができる。
- ・小石がパラパラと落ちてくる。

■地すべりの特徴・前兆現象

地すべりは、大雨や長雨等により雨水が地面に染み込み、地下水の力によって持ち上げ

られた地面が、広い範囲で徐々に動き出す現象です。

【主な前兆現象】

- ・地面にひび割れや陥没ができる。
- ・がけから水が噴き出す。
- ・地鳴り、山鳴りがする。

土砂災害警戒情報

大雨による土砂災害発生の危険度が高まったとき、町長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう県と静岡地方気象台が共同で発表する情報です。

町内では年に一度あるか

いかなの情報で、夜中でも同報無線で自動放送されますので、この情報が発令されたときは、町からの避難勧告等の呼びかけに従う、あるいは自主避難をする等の「早目の避難」を心がけてください。

土砂災害の多くは木造の1階で被災しています。避難場所への避難が困難なときは、次善の策として、屋内の2階以上（斜面と反対側の部屋）に避難しましょう。

【問合せ】

総務課（42） 3963

児童手当を受給している皆様へ

6月以降も児童手当を受け取るには、次表のとおり所得制限があります。

扶養親族等人数	所得限度額
0人	622万円
1人	660万円
2人	698万円
3人	736万円
4人	774万円
5人	812万円

所得状況を確認するため、6月30日（火）までに現況届の提出が必要になります。期限を過ぎると受給できなくなる場合がありますので、お忘れのないようお願いいたします。

現況届の提出が必要な方には、6月上旬に現況届等を送付しますので、必ず期限までにご提出ください。

【提出書類】

- ・現況届
- ・健康保険証の写し（社会保険加入者等のみ）
- ・その他必要に応じて提出いただく場合があります。

【問合せ】

健康福祉課（42） 3966

平成27年度子育て世帯臨時特例給付金について

昨年度に引き続き、子育て世帯臨時特例給付金制度を実施します。

この制度は、消費税率引き上げの影響等を踏まえ、子育て世帯に対して、臨時特例的な給付措置として実施されるものです。

今年度の申請方法等具体的な内容については、後日お知らせします。

【対象者】

平成27年6月分の児童手当の受給者

【対象児童】

平成27年6月分の児童手当の対象となる児童

【支給額】

対象児童1人につき3,000円 ※ただし、児童手当の所得制限額以上で児童1人当たり月額5,000円の特例給付を受給されている方は、対象になりません。

【問合せ】

健康福祉課（42） 3966

松崎町まぢづくり

やろうじゃ協議会

活動報告

松崎町まぢづくりやろうじゃ協議会は、「日本で最も美しい村」連合の理念に基づき、町民と行政が協働で、地域の景観や環境、歴史、文化の保全・活用を図り、住民が誇りと愛着を持てる活力あるまぢづくり活動を推進することを目的に、平成25年6月に発足し、間もなく2年が経過します。

協議会では、毎月1回会議を開催し、まぢづくりについて自分たちで何ができるのかを話し合い、さまざまな活動を実践しています。

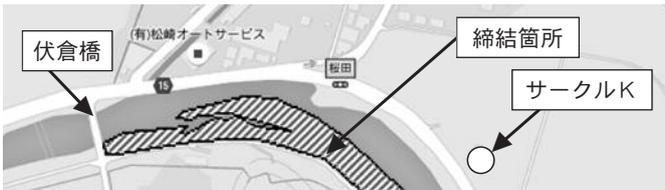
【清掃活動】

昨年11月に、下田土木事務所と町、協議会の3者により、伏倉親水広場付近について協議会が実施する河川美化活動



リバーフレンドシップ締結式

リバーフレンドシップ締結箇所



(※) リバーフレンドシップ制度とは、県が管理する河川の一定区間において、住民や利用者等がリバーフレンドとなり、清掃や除草等の河川美化活動を行うことにより、河川を地域の共有財産として保全する意識を啓発するもので、平成15年度に制度化されました。

に關して「リバーフレンドシップ制度(※)」の同意書を締結しました。

伏倉親水広場は、これまで川に土砂が堆積し、アシや雑木が生い茂り、景観を阻害していました。協議会では、昔の景観を取り戻すため、アシ刈りや清掃を重ねてきた結果、下田土木事務所による土砂の撤去も行われ、現在では護岸が見えるきれいな河川敷となりました。協議会では今後も定期的な清掃作業を実施していきます。

【写真展】

本年2月に、第2回写真展で伝える「私の好きな松崎」展を開催しました。今回の写真展は、昔の思い出を語り合ったり、若い人たちに町の歩みを感じてもらおう契機になればと、松崎町の「今と昔」をテーマに行い、3日間で約240人の方が訪れました。



第2回写真で伝える「私の好きな松崎」展を開催



伏倉親水広場の清掃活動

【リアルかかし設置】

田んぼをつかった花畑にリアルかかしを設置して、訪れる人を楽しませようと、2月から制作に取り組み、3月下旬から5月上旬まで花畑に設置しました。設置されたかかしは遠くから見ると本物の人間に見えるほどの出来であり、一緒に写真を撮る多くの観光客の姿を見ることができました。



リアルかかしの設置作業

協議会は、「やろうじゃ」をモットーに、今後も町の活性のため、さまざまな活動を実施していきます。

なお、協議会はどなたでも参加することができますので、まぢづくりに興味のある方は、ぜひご参加ください。

【問合せ】

企画観光課(42) 3964

地域おこし協力隊 新たに2人の隊員を呑囀

町では、現在活動している有馬、野口の2人の地域おこし協力隊員に加え、平成27年度から新たに2人の隊員を任命しました。今後、最長3年間、スポーツツーリズムや観光等における町のPR、「日本で最も美しい村」づくりのための事業支援等の業務に従事します。

町内で隊員を見かけた際には、お気軽にお声かけください。

【問合せ】(企画観光課内)
地域おこし協力隊

(42) 3964



村松隊員(写真左)と野中隊員(写真右)

村松正浩隊員(38歳)

石部で生活を始めた村松正浩です。焼津出身で、これまで東京を中心に映像制作の仕事をしてきました。青年海外協力隊として2年間、アフリカで映像技術の指導等も経験しました。海外協力隊で学んだのは、①その土地や人の性質を理解する。②自分の常識を押し付けない。③前の2つを踏まえつつ外の人間にしかできない新たな提案をすることでした。

「地域おこし」とは一体なんでしょうか。定義は人それぞれ違います。面白いことをやっている場所には自然と人が集まるのではないかと個人的には思っています。

いずれにしても、まずは松崎町を知ることです。とはいえ、任期は3年間と限られていますので、自分にできることをコツコツとやっていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

野中直美隊員(31歳)

4月から活動を始めました野中直美です。掛川出身で、現在那賀に住んでいます。長く体育協会でスポーツに携わる仕事をしてきましたが、前職では1年ほど飲食業も経験しました。どちらの仕事も、地域と深く関わることが重要視されることが多かったです。

スポーツが大好きで、カヤックをやっていたこともあって、協力隊に応募しました。もともと松崎町といえばシーカヤックマラソン!伊豆といえば観光地!という印象がありましたが、実際に暮らしてみると、海だけでなく山も含めた自然の素晴らしさと、素朴な生活の落ち着きが心地よいと感じ始めています。

スポーツツーリズムを含めた観光の活性化が任務の一つですが、住んでみて見えてきた松崎町の人、生活、自然、文化の魅力を最大限に生かした、地域の人も楽しめる観光を目指していきたいと思ひます。地域の方と深く関わりながら創りあげていきたいと思ひていますので、どうぞよろしくお願ひします。

栄えある叙勲

瑞宝単光章(消防功勞)

中村一夫さん(中村)

前消防団長の中村一夫さん(74歳)が平成27年春の叙勲「瑞宝単光章」を受章し、5月1日、静岡県知事より勲章・褒章が手渡されました。

また、5月14日には、ニッショーホール(東京都)において国の伝達式、皇居において拝謁が行われました。

中村さんは、32年にわたる消防団活動への功勞・功績を認められ、今回の叙勲の受章となりました。



齋藤町長に受章報告を行う中村一夫さん

【問合せ】
総務課(42) 3963

人権擁護委員委囀

4月1日付けで、眞野集さんが人権擁護委員として、法務大臣から委囀されました。人権擁護委員は、人権の救済のために活動しているボランティアです。地域の皆様の相談を受けて問題解決のお手伝いをしたり、人権についての啓発活動を行ったりしています。

松崎町では、深沢尚幸さん、高橋妙子さん、眞野集さんの3人が委員として活動しています。

人権相談は毎月1回、午前10時から午後3時まで、行政相談と合同で開催しています。相談は無料です。お気軽にご相談ください。



眞野 集さん

【問合せ】
窓口税務課(42) 3968



第30回 岩科重文まつり

4月19日、重要文化財岩科学校では、町の七大イベントの1つである「岩科重文まつり」が開催され、地場製品の販売や花之和会の日本舞踊、昌空館の空手演武等にぎわいました。



第13回 高通り山はいきんぐつつじまつり

5月10日、雲見の高通山は、山ツツジと山頂からの絶景を楽しみに訪れた多くの登山者でにぎわいました。山頂では冷たいオリーブ茶、登山口では猪汁等が振る舞われました。



桜葉の収穫作業始まる

5月上旬より、町内各所にある桜葉畑では、日本一の生産量を誇る桜葉の収穫作業が始まり、農家の方々は1枚1枚丁寧に摘み取っていました。



第39回 岩地温泉大漁まつり

5月17日、岩地海岸では、カツオの初漁を祝う「岩地温泉大漁まつり」が開催され、来場者には、カツオを使った郷土料理「ニアイナマス」やカツオの刺身、潮汁等が振る舞われました。

町民の皆様が暮らしの中
こうした活動を通じ、
ご協力をお願いします。
の指示の下、町民の皆様
の町内一斉清掃が行われ
ます。当日は、区長さん
にご参加いただき花の日
の町内一斉清掃が行われ
ます。当日は、区長さん
のご協力をお願いします。

町長室からこんにちは ⑥⑥

松崎町長
齋藤 文彦

このような活動が、町を訪れる観光客の皆様にとつても他の地域にない魅力となり、交流人口拡大につながります。

さらに、交流人口の増加は、町内に潤いをもたらし、所得や雇用を増加し、少子高齢化や過疎化といった大きな課題を解決する第一歩になると考えていますので、皆様方の積極的なご参加をお願いします。

5月の大型連休が終わり、花いっぱい運動の目玉事業として実施している田んぼをつかった花畑も本来の田んぼの姿に戻りました。

花畑に加え、5月は高通山のツツジや長九郎山のシヤクナゲに多くの登山客に訪れていただきました。今後、那賀川沿いのあじさい、棚田のスカシユリやヘメロカリスへと町内の花リレーが続きます。

地域の名所旧跡や景観資源、町の歴史を見直していただくことよって、地域に対する愛着を再認識していただくことが地域の魅力を向上させる「花とロマンのふるさとづくり」であり、こうした活動を行っていただくことを町内外に宣伝する手段の1つが「日本で最も美しい村」連合への加盟であります。

松崎町の魅力の発信を

地域の魅力で地域の活性化を――

渡辺 攻さん（那賀）

地層・岩石・地形等、大地（ジオ）が育んだ豊かな資産に富んでいる伊豆半島。那賀の渡辺攻さんは、これらジオの魅力を広く紹介する「ジオガイド」として西海岸を中心に活動している。

「きっかけは、新聞でジオについてのコラムを見たことです。普段見慣れた風景や地形にもすべて意味があることを知り、

「きっかけは、新聞でジオについてのコラムを見たことです。普段見慣れた風景や地形にもすべて意味があることを知り、

地質や地形の変化に興味を持ち始めました」と渡辺さん。

渡辺さんは、平成24年にジオガイドの資格を取得。現在、ジオガイドの西伊豆・松崎エリア長を務めている。

「西海岸の魅力は、海底火山の隆起によって伊豆半島誕生時の最も古い地層を見ることができる唯一の場所であること。こうした場

所は珍しく、西海岸は世界的にも貴重な場所なんです」と笑顔で語る。

現在、世界ジオパーク

ネットワークへの加盟申請をしている伊豆半島ジオパーク。加盟へ向けた機運も少しずつ高まっている。

「地質や地形だけではなく、地域の歴史や文化、食べ物等、自分たちが生活しているものすべてが地域の資産となります。こうした地域の魅力を地域の人が知って、外に発信して、誘客をして、地域の活性化につなげていけたらいいなと思います」と話してくれた。



キラリ、輝き人 No.6

Profile

わたなべ すすむ さん
平成24年より伊豆半島ジオガイドを務める。西伊豆・松崎エリア長。お気に入りのジオサイトは、雲見の千貫門。最近は、天城の山々をハイキングするのがマイブーム。



▶ 岩地の教育旅行でのジオ学習

地域交流通信

松本市安曇地区から

春のぼかぼかウォーキングを

開催しました

松本市では、「健康寿命延伸都市・松本」の創生に向けた取り組みの1つとして、「市民歩こう運動」を推進しています。その運動の1環として、安曇地区では年3回、福祉ひろばと公民館の共催事業で、ウォーキングイベントを実施しています。

本年度の第1回目は「春のぼかぼかウォーキング」と題して、須坂市の臥竜公園へ行きました。臥竜公園は名松百選、桜の名所百選にも選ばれた公園で、その美しさは四季を通して楽しめます。

当日は雨の心配もありましたが、傘を使うこともなく約800本の満開に咲いた桜を満喫しながら、各々のペースでウォーキングを楽しむことができました。

ウォーキングと散歩の違いを調べたところ、ウォーキングは早く歩き目的の地を目指す、散歩はゆっくり歩き景色を楽しむ



▲ イベントに参加した皆さん
◀ 須坂市の臥竜公園の満開の桜

ストップ！悪質商法被害～あなたも賢い消費者に④～

「その電話や訪問。信じていいのですか？」

この連載でもたびたび取り上げてきた、振り込め詐欺や還付金請求等の「特殊詐欺」と呼ばれる犯罪による被害額は、昨年500億円を超える深刻な状況となっています。

このような電話等を受けた場合は相手方に連絡せず、役場の窓口にお問い合わせのせる等慎重な対応をしてください。

その手口は、役場職員や税務署職員等を名乗り「税金の還付を受けられる」といったり、銀行員を名乗って「あなたの口座が不正にアクセスされる可能性がある」と電話や時には訪問までして、手続きに必要等として現金を受け取りに現れたり、特定の場所に送らせたり、あるいはキャッ

シユカードを預かるとともに暗証番号を聞き出すといったものです。



（文と絵）司法書士 山田茂樹
【問合せ】
企画観光課（42）3964

町の人口と世帯

（平成27年4月30日現在）
（ ）内は前月比

総人口	7,230人	(-13人)
男	3,429人	(-7人)
女	3,801人	(-6人)
世帯数	3,040戸	(-2戸)
転入	19人	転出 23人
出生	3人	死亡 12人

(4月届出分)
戸籍だより



おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
江奈2	晴太朗	男	齋藤 誠
那賀	桜奈	女	松田 朗
金沢	かず万葉	女	明 幸弘

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
櫻田	伊藤いづ子	84	登 夫
江奈3	山本喜一	72	佐藤清美
野田	山口保子	79	薫
宮内	加藤よし子	93	廣
建久寺	坂本尚志	72	博文
伏倉	鈴木善吉	91	龍 一
宮内	菅井岩雄	93	修
八木山	佐藤善哉	88	廣 樹
建久寺	松本喜美	85	民 夫
金沢	土屋房江	91	發 太郎
東区	山本武男	75	ち 子

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

平成27年4月発生分

()内は前年同月比

人身事故	2件	(±0)
物損事故	8件	(±0)
死者	0人	(±0)
傷者	2人	(±0)

つづじまつりで高通山に登りましたが半分も行かず息切れ！今年の目標に体力作りを加えました。(ま)

編集後記

石うすに空も映れば雲の流れ
些細な事に感動したり

土屋君子

- 総務省 東海総合通信局
- 不法無線局の相談 052(971)9107
- テレビ等の受信障害の相談 052(971)9648

われを呼びよる夫のこゑする
深さわけあるであろうに新宿の
人身事故のアナウンスさるる

杉山安紀子

- 無線機器の使用には技適マークの確認を！
- 電波の利用には、原則免許が必要！
- 外国規格の無線機器は国内では使用できません。

山際に映ゆる夕陽をみてれば
ありて心を宙へととばす

細田光代

少しでも地よりはなれてみたき日の

岡村芳子

松崎文芸

— 短歌 —

広報まつねぎ

二〇一五年六月一日発行
通刊 第六一三三号

〒421-3666 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一ノ一
☎〇五〇四二一九六四 ㊟〇五〇四二一三二八三

発行 静岡松崎町
印刷 (株)山本印刷

編集 企画観光課